



基礎研究医養成プログラム セミナーのご報告

順天堂大学オートファジー研究会 主催 基礎研究医養成プログラム後援セミナー
細胞生物学セミナー

酵母から広がったオートファジーの世界

■講師 東京工業大学 科学技術創成研究院 教授 大隅 良典 先生

2016年5月27日(金) 18:00~19:00に、センチュリータワー南10階講義室において、順天堂大学オートファジー研究会、細胞生物学セミナー主催、老人性疾患病態・治療研究センター、基礎研究医養成プログラム共催により、東京工業大学 科学技術創成研究院 大隅良典教授のセミナー「酵母から広がったオートファジーの世界」が開催されました。ご講演では、酵母でのオートファジーの発見から、次々と分子メカニズムを解き明かしていき、大きな研究領域へと発展された一連のオートファジー研究をお話して頂きました。先生の研究に対する情熱あふれるセミナーは、研究を志す者にとって大変良い刺激になったのではないのでしょうか。



2016.5.27



高校生のための夏休み医学教室：研究医とのサイエンストーク

2016年7月26日(火)にセンチュリータワー南8階講義室において当プログラム主催の高校生向けセミナーを開催しました。また、セミナー後には希望者を対象とした研究室見学会も行いました。

第1部：研究医とのサイエンストーク

研究医が語る寄生虫の不思議とその制圧

■講師 順天堂大学医学部 熱帯医学・寄生虫病学講座 教授 美田 敏宏 先生

ヒトに病気を起こし、今でも多くの命を奪っている寄生虫ですが、寄生虫学者の多くは排除すべき絶対的な敵とは考えていないそうです。寄生虫の持つ不思議な魅力と寄生虫制圧への取り組みの間で揺れ動く研究医の思いを最新研究の結果をふまえてお話していただきました。

iPS細胞を使って神経系の病気に苦しむ患者さんを助けられるか？

■講師 順天堂大学大学院医学研究科 ゲノム・再生医療センター 特任教授 赤松 和土 先生

今世界中で神経の病気によって沢山の患者さんが苦しんでいます。これまでは病気の時に患者さんの神経系で何が起きているかを直接見ることが不可能で、病気の原因と効果的な治療法はほとんどわかっていませんでした。iPS細胞技術を使うと、神経難病の患者さんの脳の中で何が起きているかを明らかにすることができます。神経難病の患者さんが日本一多く通院する順天堂大学でのiPS細胞技術を使った治療法開発への取り組みを紹介していただきました。

白血病って治るんですか？

■講師 順天堂大学医学部 血液学講座 教授 小松 則夫 先生

私たちの血液は毎日どの位造られるのでしょうか？血液はどのような働きをするのでしょうか？急性白血病はどうして起こるのでしょうか？急性白血病と慢性白血病の違いは？白血病は治るのでしょうか？そんな疑問にお答えいただきました。

第2部：“研究医のたまご”とのサイエンストーク

現役の医学部生が、高校生からの質問に答えました。参加した方から、普段知ることのできない医学部生の生の声を聞くことができよかったとの感想を多数頂きました。

2016.7.26



基礎研究医養成プログラム ランチタイムトークのご報告

2016年度 M1 研究スタート支援「ランチタイムトーク」

さくらキャンパスの新M1を対象として、研究(研究医)に興味をもってもらえるように、ランチタイムを利用し本郷・お茶の水キャンパスからのTV中継による「ランチタイムトーク」を開催しました。

基礎研究医養成プログラムの先輩学生から、研究はいつごろから開始したのか、どんな研究をしているのか、その他の活動との両立はできるのかなどを紹介していただきました。1年生からも研究室を決めるきっかけについてや、学会発表や留学に必要な英語の勉強法についてなど積極的な質問がありました。

- | | | |
|-----------|-------------|-------------------|
| ① 4/18(月) | M5 山田 泰平 君 | 司会: M3 吉村 祐輔 君 |
| ② 4/25(月) | M3 松崎 絢佑 君 | 司会: M3 藤川 勝平 君 |
| ③ 5/ 2(月) | M4 古谷 祥吾 君 | 司会: M4 梁 成秀 君 |
| ④ 5/16(月) | M6 中村 聡 君 | 司会: M6 鈴木 創太 君 |
| ⑤ 5/23(月) | M3 小笠原 義史 君 | 司会: M3 伊志謙 百々子 さん |
| ⑥ 5/30(月) | M5 金沢 華造 君 | 司会: M5 山田 晃平 君 |
| ⑦ 6/ 6(月) | M5 鈴木 祐治 君 | 司会: M5 吉村 祐輔 君 |



基礎研究医養成プログラム 病理学・法医学ランチョンセミナーのご報告

病理医って、どんな仕事？

■講師 順天堂大学医学部 病理・腫瘍学講座 **佐伯 春美** 先生

2016年9月27日(火)に、第1回「病理学ランチョンセミナー」として、病理・腫瘍学講座 佐伯 春美先生によるセミナーを開催しました。「病理医って、どんな仕事？」というタイトルのもと、佐伯先生が病理医を目指されたきっかけや、病理医としての業務、研究内容についてお話をしていただきました。参加者からは、病理医を身近に感じることができ、将来の選択肢としての病理医に興味を湧いたという感想をいただきました。



General Medicine としての法医学

— 法医学を発信源とする医科学の発展を目指して —

■講師 和歌山県立医科大学 法医学講座 教授 **近藤 稔和** 先生

2016年11月22日(火)に、第1回「法医学ランチョンセミナー」として、和歌山県立医科大学 法医学講座 教授 近藤 稔和 先生によるセミナー「General Medicineとしての法医学—法医学を発信源とする医科学の発展を目指して—」を開催しました。司会は、法医学 齋藤 一之 教授がお務めくださいました。セミナーでは、法医学者として行う業務、そこから生まれる疑問から研究への発展、さらに派生する基礎研究など、大変興味深いお話をうかがうことができました。セミナーには26名が参加し、法医学のイメージが変わり法医学への興味があわいたという感想を多数いただきました。



外科病理医と研究医の両立を目指して

■講師 順天堂大学医学部 人体病理病態学講座 **栗崎(荒川) 愛子** 先生

2016年11月28日(月)に、第2回「病理学ランチョンセミナー」として、人体病理病態学講座 栗崎(荒川) 愛子 先生によるセミナーを開催しました。「外科病理医と研究医の両立を目指して」というタイトルのもと、学生時代に基礎系講座で研究を行われていたこと、病理医を目指されたきっかけや、病理医としての業務、学術振興会特別研究員としての研究についてもお話しいただきました。また、病理は働きやすい職場で、栗崎先生も子育てされながら業務・研究を両立されているということです。参加者からは、実際の病理医の仕事がよくわかり大変参考になったという感想が聞かれました。欧米では病理医はDoctor's doctorと呼ばれて尊敬されているということです。あなたもDoctor's doctorを目指してみませんか？



地域医療～基礎医学まで 医学・医療ってなんだ？

■講師 順天堂大学医学部 人体病理病態学講座 **津山 翔** 先生

2016年12月12日(月)に、第3回「病理学ランチョンセミナー」として、人体病理病態学講座 津山 翔 先生によるセミナーを開催しました。「地域医療～基礎医学まで 医学・医療ってなんだ？」というタイトルのもと、自治医科大学ご卒業の後、病理医を目指しながら石川県にて地域医療にたずさわられたご経験と、その中で世界的にも稀な症例を発見されたことや内視鏡検査像から発見された新しい早期胃癌診断マーカーがオートファジーと関わっていることなど、臨床から基礎研究までが繋がった病理のお話をさせていただきました。先生の「病気を診て病人も診よ」の言葉は、参加者の心にも強く響いたようです。



基礎研究医養成のための順天堂型教育改革

平成 24 年度 文部科学省「基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成」事業「医学・医療の高度化の基盤を担う基礎研究医の養成」に採択されました。(39 大学申請、10 大学選定)

- ・この事業は、医学部及び医学系大学院において、魅力ある基礎研究医養成プログラムを構築する優れた取組みを支援するものです。
- ・これまでの研究医養成枠、基礎医学研究者養成奨学金貸与等の取り組みに加え、医学部・大学院をシームレスにつなぐ特別コースを実施します。

基礎研究医養成プログラム専用スペース



本郷・お茶の水キャンパス
センチュリータワー南
7階 S703

最新情報はコチラ → <http://www.juntendo.ac.jp/kenkyui>
お問合せはコチラ → e-mail : kenkyui@juntendo.ac.jp

本プログラムに興味のある方は、下記までお問い合わせ下さい。

本郷・お茶の水キャンパス

基礎研究医養成プログラム室 (03-5802-1537、内線 3486)